

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 東海学院大学
2. 日 時 平成30年11月29日（木） 16時00分～17時15分
3. 場 所 各務原市役所本庁舎 3階特別会議室
4. 出席者 <参加団体>8名 <市> 市長、子育て支援課長
5. テーマ ①幼児教育の環境充実 ②保育士の就業環境
③大学と市を含めた産学官連携事業

（テーマ①：幼児教育の環境充実）

【参加者】子どもたちにとって、安心して遊べる遊び場や公園があると、保護者の方や地域の方が安心して子どもたちだけで遊ばせられるので、そういう環境があると良いと思います。

【参加者】私が保育園に通っていた時に、近くの老人ホームの高齢者の方と関わる機会があったので、園児と高齢者が交流する機会があると、地域の繋がりができて良いと思います。

【参加者】幼児のうつぶせ寝による事故が全国的に発生しており、ニュースで取り上げられていました。防止策を考えていただくと良いと思います。

【参加者】各保育園の朝のお迎えの時に、車が混雑してしまい、通勤時の車や地域の方の迷惑になってしまっているので、何か対策があると良いと思います。

【市長】市内には5つの子ども館があります。子ども館は休館日を変えていますし、内容も少しずつ違いますので、全館行かれていらっしゃる方もいらっしゃいます。館長は保育士の資格を持った者が務めております。また、地域の方にご参加いただいて、一緒に遊んでいただくこともありますので、安心して遊んでいただけるとと思います。

地域にある街区公園は、登下校時に見まもり隊の方々に見ていただいています。また、ご近所にお住いの方々にも見ていただいておりますので、市内の公園は安心できる環境だと思えます。

保育園を持ちながら老人施設を持っているところや、地域の高齢者の方を招いて色々な遊びをしている保育園があります。これらの認知度は高まってきて、このような交流は今後増えていくと思います。まだ実施していない施設には、市から良い先進事例を紹介したいと思います。

駐車場の確保には限界がありますが、各園共通で行っているのが、送迎が集中する時間帯に、入口に保育士が立って交通整理をすることです。また、園ごとの取り組みとして、駐車場周辺の道路を一方通行とする自主ルールの作成、大型看板による注意喚起、駐車場へのカーブミラーの設置などがあります。このような工夫をすることで、ご不便がないような対策をとっています。

市の保育所などでは、国のガイドラインに準じてうつぶせで寝かせないようにしています。また、睡眠中は保育士が常に見回りながら、5分ごとに睡眠状況や体位等の記録をとっています。しかし保育士の見回りのみとなりますと、突発的に発生する無呼吸状態などへの対応が遅れる場合も考えられますので、体動停止等を感知するセンサーの導入について現在検討しています。保育士による見回りと、センサーによる二重チェックができるので、子どもたちの安全・安心が確保できると思います。

【子育て支援課長】子ども館では、保育士の資格を持った方が多く活躍されています。また子育て講座も行っています。お時間があれば是非見に行っていただきたいと思います。

（テーマ②：保育士の就業環境）

【参加者】就職につながるガイダンスや企業説明会の開催回数が少ないと思います。また他市と合同で開催する機会があると、自分が行きたいと思う園の内容を知ることができると思います。

【市長】保育園や幼稚園、介護職についての合同説明会を、イオンで９月に初めて開催しました。今回は約 30 の保育園や幼稚園、介護事業所に参加していただきました。来年度はさらに充実していきたいと思います。また、来年度は産業文化センター１階のあすかホールでの開催や、開催回数を１回から２回に変更することなどを考えています。市内の大学に通っていただいている方には、この近辺で就職をしていただけるような環境づくりに取り組んでいきたいと思います。各務原市も他市も保育士が確保できていない状況で、お互いの情報共有をしながらガイダンスや企業説明会をするのも１つの手かだと思います。

【子育て支援課長】９月は学生さんの就職活動が終わりに近づいてくるので、新卒の方を対象とするなら、もう少し前に開催したほうが良いということが今回分かりました。皆様以外にも、潜在保育士と呼ばれる方の掘り起こしも大事だと思いますので、時期をずらして複数回開催したいと考えています。

【市長】これから就職活動をされる方が何を知りたいのかを、市内の先生方にお伝えしたいと思います。保育園や幼稚園について何を知りたいですか。

【参加者】相談したい時に相談しやすい雰囲気があるかどうか知ることができると良いと思います。

【参加者】１年目から１人でクラスを持つのか、どなたか補助に付いてくださるのかについて知ることができると良いと思います。

（テーマ③：大学と市を含めた産学官連携事業）

【市長】東海学院大学さん、商工会議所さん、JA ぎふさん、市の４者で、特産であるにんじんを売り出していきたいと思いますところから産学官連携事業が始まりました。東海学院大学管理栄養学科の方々にメニューを考案していただき、市内のお菓子屋さんに、各務原にんじんを使ってメニューを作っていただきました。これからも色々な啓発事業を展開していこうと思っています。学生さんならではのアイデアをいただいて、商品化したものを市が PR するなど、色々な形で連携をしていくと思いますので、今後も東海学院大学さんに期待をしているところです。

【参加者まとめの言葉】自分の知りたかったことについて詳しく知ることができました。自分の市と比較をして、どういう違いがあるのか知りたいと思います。

各務原市の現状や、行っている対策を聞くことができ、知らないことをたくさん学ばせていただけたので、これを就職活動に繋げていきたいです。